新年を迎えて

代表取締役社長　**野澤　学**

あけましておめでとうございます。

「THE CHEMICAL TIMES」をご愛読の皆様におかれましては、つつがなく良い新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年秋のノーベル物理学賞は日本人3名が受賞し歓喜に沸きました。古くから存在する赤色と緑色に比べて青色LEDはその後20年以上も実現できませんでしたが、3氏の卓越した研究によって実用化となりました。その授賞理由は『明るくエネルギー消費の少ない白色光源を可能にした高効率な青色LEDの開発』として世界の発展に大きく貢献したことであります。日本の「モノ作り」技術が評価された結果でありますが、これ以外にも日本オリジナルの技術は多くの分野で社会の発展に寄与しており、私どもを取り巻く科学技術の成果は今後大いに期待されるところであります。

さて当社は創立以来71年目に入りました。これもひとえにお客様をはじめとするステークホルダーの皆様に長い間支えて頂いたことと心より感謝申し上げます。今年の決意として当社は引き続き、試薬・電子材料事業を中心とした各種試薬、臨床検査薬、医薬品・食品分野、化学品、半導体・液晶・電子部品向け薬品・材料の研究開発を進め製品化を行って参ります。同時に国内生産拠点の拡大および販売・物流も強化し、Cica製品をより速やかにお届けできる体制を整え、科学技術の進歩と発展に貢献したい所存でございます。

末筆になりますが、私どもの本社は東京・日本橋に位置しており、古くから医薬品問屋や商社の町としても栄えて参りました。徳川幕府開設以来400年の歴史のあるこの日本橋では古き良きものを残しつつ、三井タワーやコレド室町などの登場で街並みはとてもモダンになりました。近くには1,000年以上の歴史を持つ『福徳神社』というご利益の高い神社がリニューアル完成し、古くは徳川家康も参詣、2代目秀忠は当神社の椚の鳥居に春の若芽の萌え出でたのを見て、別名『芽吹神社』と名付けました。会社の繁栄、自身の新たな能力の芽生え、恋の芽生えなどを祈願する方でにぎわっているようです。お近くにお越しの際にはお立ち寄りいただいてはいかがでしょうか。

当「THE CHEMICAL TIMES」は1950年の発行以来、今号で235号を迎えました。今年も様々な分野の先生方より貴重な研究成果をご投稿いただき、数多くの知見が読者の皆様の研究や事業の芽生えにつながるように関係者一同取り組んで参ります。今後もご指導、ご鞭撻をいただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

この一年が皆様にとって光輝に満ちた幸多い年でありますように祈念しております。